

社協みゆき東

第 69 号

平成 29 年 1 月
御幸東地区社会福祉協議会
会長 佐藤 忠次
編集 堤 悅生

新年明けましておめでとうございます



佐藤 忠次 会長

新しい年が皆様にとって、ご多幸・ご健勝でありますようお祈り申し上げます。

現在日本の高齢化は、急速に進み、国に於いては、医療・介護・福祉・生活支援等が、一体的に提供される仕組みとして、「地域包括ケアシステム」を提唱しております。川崎市では、高齢者のみならず、子供から高齢者、障害者も含め、地域で暮らす全ての方を対象に「地域包括ケアシステム推進ビジョン」を制定し、昨年度から全区役所に「地域みまもり支援センター」が設置され、センターに支援担当保健師を配属し、取組がスタートしました。幸区では、「ご近所支え愛モデル事業」を実施して、27年度は3町内会、28年度は5町内会で実施された。本年度は更に多くの町内会で実施を計画されておりますので積極的に取り組んで頂きたい。

去る12月1日に「民生委員・児童委員」の一斉改選が行われました。3年間の任期ですが、地域福祉の充実のために、大変重要な役割を担っており、地域の人々から期待されております、ぜひ頑張ってください。

本年は、民生委員制度100周年の記念すべき年で、5月には記念行事も計画されているようです。今年も住み慣れた地域で、安心して暮らせるために、みんなで一緒に頑張りましょう。

● ● ● ● ● ● ● 《御幸東地区社会福祉協議会》 ● ● ● ● ● ● ●

～永年にわたる福祉事業功労者表彰～

● 秋の叙勲において当地区社協の次の方が瑞宝双光章を受賞されました。

佐藤 洋子氏（戸手本二）

● 平成28年度全国社会福祉大会が開催され当地区社協の次の方が受賞されました。

厚生労働大臣表彰 小林 邦夫氏（戸手）

全国社会福祉協議会会长表彰 榎本 武氏（小向西町）

● 第65回神奈川県社会福祉大会が開催され当地区社協の次の方が受賞されました。

神奈川県社会福祉協議会会长感謝・神奈川県共同募金会会长感謝

小林 邦夫氏（戸手）

● 第54回川崎市社会福祉大会が開催され当地区社協の次の方が受賞されました。

川崎市社会福祉協議会会长表彰 高橋 吉明氏（オーベルグランディオ自治会）

● 第14回川崎市幸区社会福祉大会が開催され当地区社協の次の方が受賞されました。

幸区社会福祉協議会会长表彰 本間 初江氏（戸手） 坂口 典子氏（戸手多摩川）

受賞の皆様おめでとうございます。

長年のボランティア活動が認められました。

今後の活動とご協力をお願い申し上げますとともに感謝申し上げます。

平成28年度賛助会費ご報告

963件 1,417,000円

ご協力ありがとうございました。

ご寄付ありがとうございました。

いも煮会（戸手中部） 24,800円

一年をとおして・長寿を祝う会・会食会・住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために

● 一年をとおして 神明町町内会

神明町町内会では、「明るい町・平和な町・きれいな町・災害に強い町」を活動の四つの柱としています。そして、それを実現するための行動計画や組織編成を立案し、日々取り組んでいます。

「明るい町・平和な町」づくりでは、町内の皆さんのコミュニケーションを図ることを重点に、普段からの声掛け運動をはじめ「ばら祭り・町内大運動会・神明神社祭礼・元旦祭・豆まき」等の行事や防犯パトロール活動・緑道清掃・神社清掃・福祉講座を実施しています。

「きれいな町」づくりでは、定期的に町内を巡回してゴミの出し方や放置自転車等のチェックをはじめ、ゴミ減量に向けて「神明町ニュース」等での広報活動を実施しています。

「災害に強い町」づくりでは、防災訓練の実施や防災用具・用品の充実や定期的な訓練を実施して使用方法の習得に努めています。

その他、子ども会や老人会の活動助成や区の行事への協力や参加をしています。（K）



ばら祭り

● 長寿を祝う会 小向仲野町

恒例の敬老祝賀会が9月11日（日）に開催され、元気な高齢者が多数参加され、和氣あいあいと進む中、お互いに長寿を祝し交流を深めた。

当町会では事前に年齢調査をし、75歳以上の方々に案内状を差し上げています。最高年齢は98歳の男性の方で、元気に祝賀会にも参加されていて、仲間より大きな拍手で紹介されていた。参加者はお互いの長寿を祝い、楽しい一時をすごされていた。

主催（町会）としても今後は戦後生まれの正に「団塊の世代」が高齢期に達し年々増えてくる対象者のため、会場づくりや予算、ボランティアの確保等、今後の課題としていろいろ工夫し取り組んでいるところです。

さらに、町会主催の「ふれあいカフェ仲野町」毎月第4水曜日や「健康づくり体操」の活動を通し、仲間づくりや認知症の予防など身近な問題や悩み、不安など相談できる場として、これからも家族、地域、町会、ボランティアも含め一緒になって継続、支援していきます。（S）

● ふれあい会食会「くつろぎ」 戸手町

残暑のきびしい9月6日（火）町内会館にて会食会が開催されました。いつも早い時間から来館し、食事前に楽しく会話がはずんでいます。△△さん来てないよ！ 昨日私あったけど！ディーサービスかな！と心配し、気づかい、とてもなごやかに温かい雰囲気の中、会食会が始まりました。

今回は保健師さんから

①「夏バテ、秋バテにご注意を」のテーマで



その原因、症状、予防と対策についてお話をありました。

②「健康長寿のための運動」

簡単な立ち方、座り方のリズム実技もあり、一緒に体験する人たちも多く、あまりの元気さに保健師さんはビックリ！ 会は盛り上りました。

③いつものようにリラックス体操、うたをうたい、心も体もリフレッシュして会は終了しました。

参加者も増え、会場のせまさなど課題はありますが、これからも地域の人が元気で安心してすごせるようこの会食会を通して見守っていけたらと思います。 (Y)

● 住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために

戸手本町二丁目町内会

昨年は（平成26年秋）創設50周年記念事業が盛大に行われ、「住んでいて良かった」の声と共に喜びを共有したところです。

今年度は子どもから高齢者迄「幸区ご近所支え愛モデル事業」にあたり、今日一日、誰とも話をしなかった…。困った時に頼る人が近くにいない…。隣近所とお付き合いがない…。子育てで相談したい…。等ちょっとしたことにも、寄り添うことで元氣ができる、こんな町に…。社会福祉協議会・町内会では顔の見える関係づくりに様々な行事を開催しております。

いづれの集いも歩いて行かれる近隣です。例えば子育て支援・異世代交流事業・高齢者（70歳以上対象）会食会等、ご近所に声をかけ会って、気楽に参加して頂けるものばかりです。

我が町の人口は4,460人（平成27年3月現在）65歳以上610人（高齢化比率13.7%）・子ども941人（子ども比率21.1%）世代間のバランスの取れた町です。このような特色を生かした、「お互いに持ちこたえる」さまざまな取り組みをしていきたいと思います。 (W)



5月会食会・つくし保育園児と手遊び

● 会食会「さくら会」

オーベルグランディオ川崎

自治会の総会が、6月29日に開催され、「さくら福祉会」（さくら会）が正式発足いたしました。

さくら会は、社会福祉協議会の趣旨に賛同し、子どもから高齢者まですべての居住者の、「福祉・生活・環境などの向上」を目的として、活動するボランティアの集まりです。活動のひとつとして、高齢者（65歳以上）の会食会を開催しています。これまでに5月、7月、9月各月の第2火曜日に実施しました。回ごとのテーマに沿って、保健師さんや歯科衛生士さん、栄養士さん、幸風苑の職員さんなどに



参加いただき、食後には、身近な情報提供やミニ講座、体操などを行っています。和やかな雰囲気のなか、とても好評です。今後も奇数月開催予定です。

また、災害時に備えて、支援が必要な方の把握も大切な役割だと考えています。

みなさんに、よろこんでいただけるよう、楽しんでいただけるよう、ボランティア一同試行錯誤しながらがんばっています。これからもさくら会をどうぞよろしくお願ひいたします。 (K)

懇親あふれる芋煮会・ミニサロン・子育て支援

● 懇親あふれる芋煮会 戸手中部町内会

「共に感じ、共に生き、共に輝く」をモットーに、当町内会では会員相互の親睦と町内の発展を図るため、四季折々にいろいろな行事を展開しています。年の始めの初詣、新緑が色濃くなる頃の運動会、ギラギラと輝く太陽の下で汗を流しての夏祭、そして紅葉が深まる頃の芋煮会等々です。いずれの行事も子供から高齢者まで幅広い世代の方々が大勢参加します。とりわけ芋煮会はユニークなものです。芋煮はもちろん焼芋・焼鳥・焼秋刀魚・焼きそば・餅・赤飯・バナナ・ジャガ芋バターなど食欲の秋をほうふつさせる各種模擬店、餅つき・包丁研ぎの実演、日中活動センターの作品展示、中学生の課外活動の一環としての踊りなど、賑わいの中で人々は舌や目で楽しみながらお互いにコミュニケーションを深めています。そして、芋煮会として地区社会福祉協議会へ、ささやかですが寄付をさせていただいております。（W）



● ミニサロン・スイカ割り 小向町



毎年8月にミニサロンと小向子ども会でコラボしてスイカ割りを実施しています。コラボの活動を通して、多くの地域の方々に利用して頂ける様に、ミニサロンと小向子ども会の活動認知と宣伝をしています。

参加者は大人子供含め約80人程参加しました。高学年の子が目隠しした低学年の子にアドバイスを与え声を掛け合いながら、みんなでコミュニケーションを取りつつ楽しくすごしました。スイカ割りの後は、ミニサロンの方々が用意して下さいました美味しいカレーとスイカをテーブルをかこんで食べ、多くの人々のコミュニケーションの場となりました。

今後もコラボを通じて意見やアイデアを出して、笑顔で溢れる地域に密着した活動を続けていければと思います。（K）

● ミニサロン「健康体操で健康長寿」 小向西町

平成28年度 幸区地域課題事業として、健康長寿のための運動を教わりました。

8月、区役所での講師は、健康運動指導士の黒田 恵美子先生でした。私達小向西町では、さっそく「ミニサロン」で地域の方々に、ぜひ紹介をしたいと思い、10月町内会館で開催しました。地域みまもりセンターの保健師さん二人、看護師さん一人がきて下さり、わかりやすく教えて



いただきました。毎日の生活の中で無理なくできる体操、自然に筋力もつく筋トレ体操として、参加者全員すぐできる！と実感したようでした。長寿社会を元気に暮らしたい、だれもが願うことです。本当によいタイミングで、よい体操に出会えてよかったです。 (O)

● 子育て支援 戸手多摩川町内会

今年も7月23日から早朝ラジオ体操が始まりました。6時頃からオーバル公園には出席カードを首にかけた元気な子供達や、眠そうな顔の子供達で毎日50~60名が集まつた。出席カードの手渡しや、はんこ押しは上級生が責任持って行います。参加賞や皆勤賞は頑張った証し、その表情から達成感が伝わってくる。

7月30日納涼祭の前夜祭は子供主体とし、猛暑の時間帯を避けて計画をした。アンパンマンなどの手作り神輿が2基、幼児と小学生に分かれマンションロードをワッショイ、ワッショイと練り歩いて周りの目を集めめた。水鉄砲による的あてゲームは景品もあり人気で長い列ができていた。花火をするところがない近年、花火大会はみんなが良い経験ができ花火があがる毎歓声が沸き、楽しい時間はあっという間でした。

翌日の納涼祭では子供広場のヨーヨーフリーや、駄菓子屋、子供福引抽選会で盛り上り楽しんでいました。また今年の盆踊りは大人の輪に混じりゆかた姿の大勢の子供達が参加して踊りの輪も三重と大盛況でした。この子達が健やかに育つよう多方面からの支援を続けていこうと思いました。 (S)



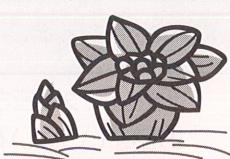
● 子育て支援 ファインフィールズ

ファインフィールズでは、今年、(マンションの子ども達も通う) 御幸中学校の生徒さん達を二つの行事にお招きいたしました。

一つ目は、7月2日(土) 開催の「第6回 子ども夏祭」です。オープニングに、演劇部のみなさんによる『よさこいソーラン』を3バージョン披露していただきました。迫力のある踊りを間近で見た子ども達の目はキラキラと輝き、魅了された観客から大きな拍手がおこりました。

二つ目は、9月24日(土) 開催の「秋の音楽祭」です。吹奏楽部のみなさんには、弦楽器・金管楽器・打楽器など、たくさんの楽器による迫力のある演奏をしていただきました。アニメの曲や懐かしい曲もあり、子どもから大人まで幅広く楽しむことが出来ました。

二つの行事を通して、中学生の立派な姿に感心するとともに、これから大きくなる子ども達の成長が楽しみとなりました。 (T)



女性部活動報告

昨年4月の「女性部」役員改選に伴い、部長として就任いたしました小向町の棚瀬良子と申します。皆様からのご意見を賜り、女性部がより発展できますよう努力してまいります。ご協力とご指導の程宜しくお願い申し上げます。

御幸東地区社会福祉協議会の一部門として、8町会・2自治会から120名のボランティアとともに地域活動に取り組んでおります。

福祉や医療制度が大きく見直されている現在、地域の交流を通して健康を保ち、人の輪を大きく広げ生き甲斐を育て、豊かな生活を送れるよう日々取り組んでおります。

住みよい優しい町、多世代がいきいきと暮らせる町を目指し、支えあうことの一環に役立つ活動を模索しながら活動しております。応援宜しくお願い申し上げます。

- 1. いきいきサロンやすらぎ…… ① 毎週月曜日10時～15時・御幸集会所
お茶・コーヒー・お菓子・昼食の提供
(手芸やおしゃべり等自由に過ごしています)
② 社会福祉体験教室
小学生4年生～ 7月・8月 ボランティア体験の場提供
③ イベント クリスマス会 ……12月19日
サロン祭り …… 3月13日
- 2. ボランティア研修……… ① 栄養講座と調理実習（年間2回実施）
② 御幸東地区社会福祉協議会主催交流・情報交換会（年1回実施）
- 3. くつろぎ会食会……… 各町内会毎（年6回開催・内2回は保健師の話）
(心のこもった手作りの昼食)
- 4. 区民祭……… ① いきいきサロンやすらぎ利用者による手作り作品展示
② 御幸東地区社会福祉協議会活動のパネル展示
- 5. 幸風苑……… 納涼祭・餅つきに協力
- 6. ミニサロン……… 各町内会毎（年間6回以上実施）
- 7. 共同募金……… JR川崎駅西口で街頭募金協力（3日間）



自慢の作品



健康長寿を願う

チャレボラの皆さん・
お話をいっぱい有難う

編集委員紹介	
編集委員長	堤 悅生 (戸手中部)
編集委員	富士原裕文 (オーベルグランディオ)
〃	佐野 昇 (小向仲野町新生会)
〃	渡邊 繁子 (戸手本町二)
〃	矢野 永子 (小向西町)
〃	深谷 勝子 (戸手)